

新富町 議会だより

129号

2026年2月



12月定例会

- はたちの集い特集
(新成人のアンケート等)
- 12月定例会報告・臨時会報告
- 一般質問(8人が登壇)
- 議案審議結果
- 議会報告
- Pickup はたちの集い実行委員会

新成人インタビュー 10年後の未来

①自分はどうなっている？

②新富町はどうなっていてほしい？



上新田中学校出身 本部 沙也さん

学生 (県内)



①地域の方々の生活を支えるようなお仕事に就き、新富町をはじめ、児湯郡全体の活性化に努めている。
②10年後の新富町は、スポーツが活気づいて沢山のお客さんと賑わっている。地域の活性化が進んで、住民が増えていてほしい。

新田中学校出身 平林 耕多さん

学生 (県外)



①私は教師として大成しているでしょうか。それとも今では想像もしていなかった職業に就いているのでしょうか。どんな私になっているかはわかりませんが、10年後のあなたが笑顔でこのメッセージを読んでいることを願っています。
②今よりもずっと活性化しているのではないかと。地域の発展によって豊かな暮らしと安全な生活が新富町全体で達成できていると嬉しいですね。

はたちの集い

上新田中学校出身 森山 綾太さん

学生 (県内)



①実家の和牛繁殖農家を継ぎ、有名になって宮崎のブランド肉を生産している。
②10年後の新富町は今と変わらない自然豊かな町であってほしい。もう少し畜産・園芸の農業が広まってほしい。

新田中学校出身 小嶋百合香さん

学生 (県外)



①10年後の私は、ブライダルのヘアメイクとして現場で活躍したいと考えています。4月から美容専門学校に通い、基礎からしっかり学び、技術と経験を積んでいきたいです。人生の大切な節目である結婚式に関わり、花嫁さんに安心して任せてもらえる存在になることが目標です。
②10年後の新富町は、もっと全国に知られて、活気ある町になってほしいです。新富町は農業が盛んで、美味しい野菜や果物などの地域の特産品がたくさんあり、地元の直売所やグルメも魅力的です。また、きれいな海岸や豊かな自然、古墳などの歴史的な景観もあります。スポーツ施設やイベント、地元の文化や食を楽しめる場がさらに広がって、新富町を訪れる人が増え、にぎわいのある町になってほしいことを願っています。

富田中学校出身 豊田 聖菜さん

学生 (県内)



①私は現在、看護師国家試験に向けて勉強に励んでいます。10年後は、患者様一人ひとりの価値観や不安に寄り添える看護師を目指します。自分の選んだ道を誇りに思える社会人になりたいと思います。
②これからの新富町は医療や生活環境が整い、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる街になってほしいことを望みます。

富田中学校出身 新名 瑛斗さん

会社員 (県内)



①私は、自分のやりたいことを見つけ、真面目に働いていると思います。自ら挑戦し、何事にもチャレンジすることを心掛けていると思います。
②今よりも活気にあふれ、伝統行事を大事にし、地域の方達と協力し合えて、明るく、変わることはない文化や環境を大事にする町になってほしいと思います。

新成人にアンケートをとりました 政治や選挙に関する意識調査

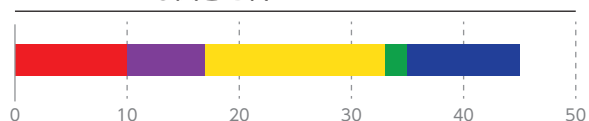


出身校	回答数	興味がある		興味がない	
		人数	割合	人数	割合
富田中	52	23	44.2%	29	55.8%
新田中	22	11	50.0%	11	50.0%
上新田中	14	11	78.6%	3	21.4%
全体	88	45	51.1%	43	48.9%

出身学校によって興味の差が見られ、地域・学校環境の影響が一定程度ある可能性。

興味があると答えたグループ

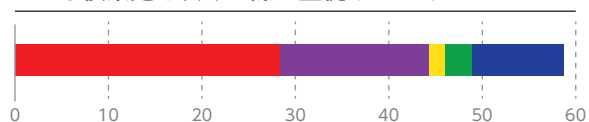
●関心を持ったきっかけは



- 学校の授業で学んだ
- ニュースやSNSでの情報
- 特にきっかけはない
- 家族や友人の影響
- 社会問題への関心から自然に持った

若者にとって政治情報の入口が「日常的に触れる媒体」であることが明確。

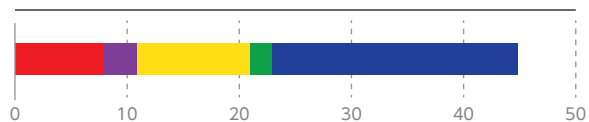
●投票先を決める際に重視するもの※複数回答



- 政策内容や公約
- 候補者の人柄や信頼性
- 特に重視するものはない
- 政党の理念や歴史
- 周囲の意見や雰囲気

政党よりも“個人”を重視する傾向が強い。

●政治参加を広げる方法として関心があるものは

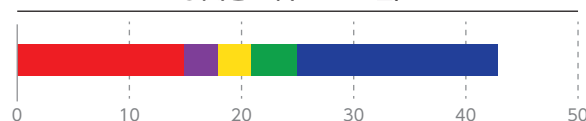


- 地域活動やボランティアへの参加
- SNSでの意見発信
- 特に広げるつもりはない
- 政党や候補者のイベント参加
- 政策提言や署名活動

興味がある層でも、積極的な政治参加意欲は限定的。

興味がないと答えたグループ

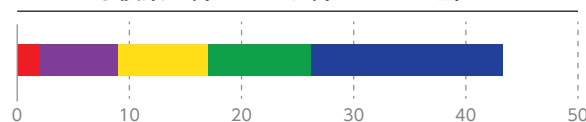
●関心が持てない理由



- 政治が難しくて分かりにくい
- 自分の一票では変わらないと思う
- 候補者や政党に魅力を感じない
- 忙しくて時間がない
- 特に理由はない

「難しい」「よく分からない」が最大の壁。さらに「特に理由はない」が最多で、無関心層の“無自覚な距離感”が浮き彫り。

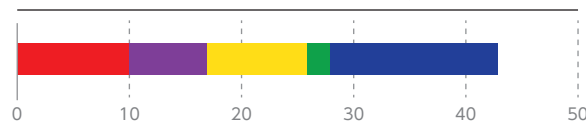
●投票に行かない、行きにくい理由は



- 投票所が遠い
- 投票方法が分かりにくい
- 投票日が都合に合わない
- 特にない
- 政治に興味がないから

制度的なハードルよりも、興味の欠如が最大の要因。

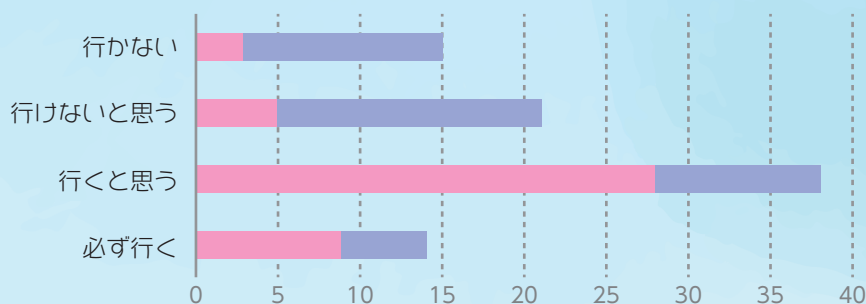
●政治に関心を持つきっかけとして考えられるものは



- 分かりやすい情報提供
- SNSなど身近な媒体での発信
- 特に思いつかない
- 若者向けの政策やテーマ設置
- 身近な人の意見や経験談

「分かりやすさ」「身近さ」が鍵。若者向け政策への期待も一定数ある。

3月1日の新富町長選挙と町議会議員補欠選挙の投票に行きますか



政治や選挙に興味がある 政治や選挙に興味がない



興味の有無で投票意向に大きな差があり、興味がない層では「行かない・行けない」が過半数。

12月定例会報告

の締結、公の施設の指定管理者の指定などについて審議。以下は主な議案と説明です。

議案第73号 令和7年度新富町一般会計補正予算(第10回)

総額171億4,161万7千円 (10億2,715万4千円増)

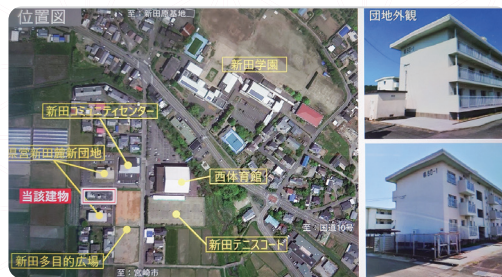
議案第100号 令和7年度新富町一般会計補正予算(第11回)

総額173億3,916万6千円 (1億9,754万9千円増)



2億5,000万円

ふるさと納税寄付の募
集や返礼品調達、送付
の事務代行に係る補助
金



8,582万9千円

旧県営新田麓団地の利
活用にに向けた改修費等
への補助金



5,600万円

子育て世帯に対する経
済的支援として児童手
当受給対象者一人当た
り2万円を支給



6,445万円

農業・畜産業・商工
業・医療・福祉事業者
等へ原油・物価高騰対
策費

議案第79号 令和7年度新富町水道事業会計補正予算(第3回)

営業費用総額 **3億2,884万円** (180万8千円増)

建設改良費総額 **1億5,584万3千円** (55万6千円増)

総務産業常任委員会

総務産業常任委員会では、付託された17議案について審査を行い、いずれも全会一致で原案可決すべきものと決しました。主な議案として、令和7年度一般会計補正予算では、歳入歳出それぞれ約10億円を増額し、総額171億4,161万7千円としました。歳出では、職員給与改定に伴う人件費のほか、ふるさと納税増収を踏まえた関連経費、旧県営新田麓団地の利活用にに向けた改修補助、物価高騰対策として学校給食費補助の追加などを計上しました。また、農地管理の負担軽減を目的とした草刈機購入費、富田漁港の機能保全費、教育分野では副読本印刷費やGIGAスクール用ルータ

ー更新費などを盛り込みました。

委員会では、ふるさと納税返礼品の新規品目として金芽米の提案があり、今後検討する旨の説明がありました。また、草刈機貸出の基準や使用料について質問があり、現在基準を作成中であるとの報告がありました。

このほか、職員給与や議員・特別職の期末手当改定、職員定数の見直し、消防・防災機器の更新契約、旧県営新田麓団地の貸付、ほ場整備事業に伴う土地処分、公の施設3件の指定管理者指定などについて審査を行い、いずれも適切と判断しました。

令和7年新富町議会

令和7年12月1日～12日で開催。7つの補正予算と9つの条例改正、物品売買契約

議案第74号 令和7年度新富町国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

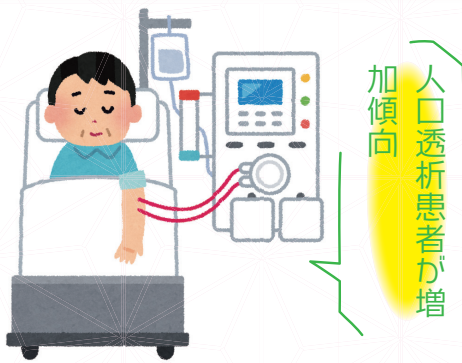
総額 **20億9,975万1千円** (702万5千円増)

議案第75号 令和7年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3回)

総額 **18億5,796万円** (178万5千円減)

議案第76号 令和7年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3回)

総額 **5億2,693万6千円** (99万6千円増)



議案第77号 令和7年度西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計補正予算(第1回)

総額 **26万2千円** (12万1千円増)

議案第78号 令和7年度新富町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第3回)

総額 **1,172万3千円** (40万6千円増)

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は付託された10議案について審査を行い、いずれも全会一致で原案可決すべきものと決しました。国民健康保険特別会計補正では、給与改定や高額療養費制度見直しに伴う経費を増額。人工透析患者が28名と増加していることから、重症化予防の取組の重要性が確認されました。介護保険関係では、制度改正に伴うシステム改修や給付費の調整が行われ、町内の訪問介護事業所の人材確保の課題や、特別養護老人ホーム入所希望者の減少傾向が報告されました。

また、令和8年度から始まる「こども誰でも通園制度」に対応するため、乳児等通園支援事業に関する基準を定める条例2件を新たに制定。一時預かりとは異なり、子どもの発達支援を目的とした制度であるとの説明を受けました。さらに、行政手続における個人番号利用範囲の拡大、福祉関連施設2か所の指定管理者として新富町社会福祉協議会を選定する議案、障害認定審査会の委員増員による審査体制強化などについて審査し、いずれも適切と判断しました。



町長

やむを得ないと判断

F35Bに関わる負担軽減策について町長の意思表示は

問 国から負担軽減策の説明があり、その後町民説明会が開催され、11月4日から機種転換訓練が始まった。しかし町長の意思表示がないが、どう考えているのか。

町長 当初からF35Bの配備については、パイロットの資格取得を含め必要最低限の訓練であり、本来馬毛島で行うはずだった訓練を新田原で行うということについて、防衛省から説明を受け、住民説明会も実施し、一定程度の評価をしている。現在の国際情勢等を鑑みると、やむを得ないと判断。

問 町民説明会でも「受忍限度を超える騒音には耐えられない」との声があり、訓練開始後も「やかましすぎる」「長く続く異常な音には耐えられない」との声が多く寄せられている。今後配備が進めば騒音はさらに厳しくなると思



あらゆる方面で対策を求め

われるが町長の認識は。

町長 F35Bの配備が始まり受忍限度を超える騒音が増加する状況を鑑みると、町民の皆さんが負担を強いられて国防を支えるのであれば、防衛省として例外的な対策を講じるべきだと交渉している。環境整備法の改正や変更も含めきちんとした対策を取るよう協議している。



実感できる対策を

町民への電気料等の補助金拡大について

問 交付金の使途では、町民全体への恩恵がないとの声がある。現行では騒音の著しい区域を対象に電気料等の補助が行われているが、町内全域に拡大し、騒音の著しい地域には現行の2倍の補助、新規地域には世帯当たり最大1万円

の補助とするなど、事業拡大の考えはないか。

町長 馬毛島の代替としての4年間という騒音が大きい期間に、新富町が受ける被害に対しては、住民への何らかの対策をしっかりと取らなければならないと考えている。なるべく早く事業化できるように、しっかりと検討していく。

新田・上新田学園講堂の建て替えについて

問 講堂は、体育授業など子どもたちの使用頻度が高い施設である。安全性を保つためにも建て替える必要があるのではないか。

教育長 講堂については、現在修繕を行いながら長寿命化を図っている。しかし、防音対応などの調査を進める中で、築50年近い建物であることを踏まえると、建て替えるも含め総合的に検討が必要と考える。



現状で安全に活用できるのか



み ち ち ひろ 浦 千 尋 議員

町長の政治姿勢について

町長 6つの基本政策を柱に町政発展に尽力している

くり事業など、可能な施策を住民の理解を得ながら進める必要がある。

小規模校こそ多様なあり方が求められる

問 熊大附属小の国際クラスや

関西大学初等部は、新たな人材を育成するため最先端の学習方法を取り入れている。本町でも人材教育を通じて定住・移住効果に注力したい。そこで、総合的学習と関連する新たな時代の挑戦として、多様なあり方の一つである「STEM教育」について伺う。

教育長 生きるために必要な力を、教科単独ではなくつなぎながら考える学習法である。自ら問いを立て、試し、創造する教育として本町でも取り組んでいる。

F35B運用と対策の骨子について

問 住宅防音の早期解決は大前提である。その上で、周辺町道の拡幅や歩道設置は住民の強い要望だ。さらに、機体や飛行形態はこれまでと異なり、国にとっても初めての経験である。基地外の騒音対策のためにも、垂直着陸パッドの西側新設を早期に実施することが現実的な対応と考えるがどうか。

町長 この件については国も早期着工に向け動いている。



西側着陸パッドの早期着工を



持続可能な地域振興の原動力

文化会館の活用について

問 地域文化の核として位置付け、利活用を再考する好機と考える。多様な価値観と人材を結びつける文化会館は、結果として地域振興策の原動力にもなる。具体的な活用プランはあるのか。

教育長 教育・芸術・創造性の入り口として、住民が創り表現する機会を提供し、ビジョンを持ちながら積み上げていきたい。

問 人口確保が重要である。県人口の減少率と本町を比較すると、直近5年間は減少率が縮小しており、高く評価できる。しかしながら、上新田・新田地区は依然として厳しい状況にある。この地区へのテコ入れが急がれるのではないか。

町長 データ提供に感謝する。

新田地区の基盤整備、上新田地区のスマートーC新設を契機として現在取り組んでおり、それぞれの計画を進めていく。

問 町内居住人口1万5千人を維持したいとの町長の思いに可能性を感じる。そこで、スマートーCや三納代周辺開発に関する計画の可視化の時期について伺う。

町長 町の計画との整合性や農業振興地域をどうするかが議論・検討課題である。防衛省のまちづ